ゆめ木風③ 放課後等デイサービス事業所自己評価表（公表）

公表日：令和 6年 3月 15日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		クールダウンできる個室はないが臨機応変に対応し児童が落ち着けるよう散歩するなど工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			基本数2に加え加配職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		洗面台が少し高いので児童が手を洗う際には、足元に台を置く工夫をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	4		毎日の朝礼や、定期的な会議の中で、情報共有や支援方法の検討などを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	5		保護者様向けアンケートを毎年実施し、ご意見を参考に業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			毎年度ホームページにて公開するとともに、事業所内にも掲示するようにしています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			8	第三者による外部評価を行う機会がない。もしなにかあった際には、しっかりと第三者による外部評価を行っていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			定期的にオンラインでの内部研修を行っています。不定期ですが、外部研修にも積極的に参加しています。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			契約時に保護者様からお子様の特性をお聞きし、職員間で情報共有した上で支援にあたるようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	6		今後標準化されたアセスメントツールを構築し、職員の共通理解に努めていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		職員間で定期的にミーティングを行いながら立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	4		随時、お子様一人一人の成長に応じた内容に変更しながら支援にあたっています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	5		平日は個別での課題、休日や長期休暇は集団でのイベント活動を中心に行っています。

提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			お子様や保護者様のニーズや課題を踏まえた上で、状況に応じた計画を立て実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			朝礼を行い、前日などの様子を伝えるとともに打ち合わせを行っています。引き継ぎのための記録も残しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			次の日に必ず朝礼を開き、支援についての情報を共有するようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			毎日ケース記録をとっています。記録を元に、支援の検証・改善につなげていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			概ね6か月に1度、児発管を中心に支援計画のモニタリングを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8			職員にガイドラインの理解の徹底を図り、それに基づいた支援提供を行えるよう指導していきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			基本的に児発管と保育士の2名で参画するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	3		保護者様を通して情報を得ています。必要に応じて学校との連携も行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				対象児童なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6		必要に応じて対応できるようにしています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3		必要に応じて対応できるようにしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		必要に応じて他事業所や関係機関との連携を図り、助言等をもらい、研修にも参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		8		計画的な交流はありませんが、公園に行った際などに一緒に遊ぶ機会があります。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	7		協議会等の情報を得て、機会があれば参加していきたいです。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時や連絡帳でのやりとりを通して、日頃から情報の共有を行うよう努めています。

	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	2	6		外部研修に参加するなど職員の家族支援に対しての知識や技術を習得する機会を設けていきたいです。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		契約時や質問があった際に丁寧に説明するように心がけています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3		保護者会や面談を通じて意見の交換や必要によってはアドバイスなど行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8			コロナ禍の為、年1回のペースで保護者会を実施し、保護者様同士の親睦や交流が深められるよう努めています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3		苦情受付担当者を設置し、迅速に対応できる体制を整えています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月の様子や行事予定をのせた会報を発行しています。連絡等があればその都度お知らせとして発信しています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	8			契約時に文書にて確認させてもらったり、書類なども定められた場所に保管するなど十分注意しています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	3		特性を理解することに努め、日頃よりコミュニケーションをとりながら意思の疎通が図れるように配慮しています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8		地域に開かれた事業所と認識してもらえるよう様々な活動や情報発信を考えていきたいと思います。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		職員は把握できるが保護者様への周知がされていないため、文書などで伝え理解を得られるよう努力していきます。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			定期的に計画を立てて避難訓練を行っています。様々なトラブルに対応できるよう研修などの機会を増やしていきます。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			オンライン研修を定期的に行い、その中で虐待防止に関わる研修も毎年行っています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載して	8			実績はないが、やむを得ず行う場合は承諾書を準備しています。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			アレルギー調査票をもとに適切に対応しています。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3		口頭での共有に留まっていることがある為、再度見直し、些細なことでも文書として残して情報共有に努めていきます。